

No.132
2025.1

北いぶき

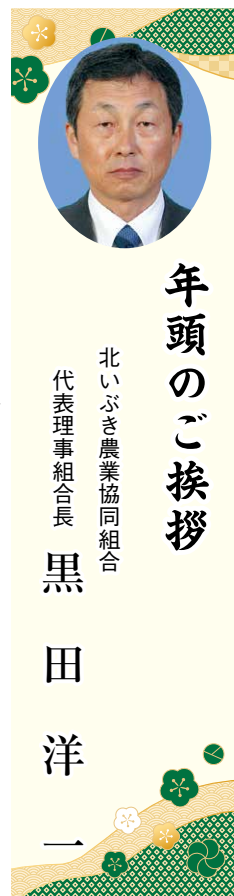


11月19日から22日にかけて女性部妹背牛支部役員は道外視察研修を行いました。
詳細は21ページをご覧ください。

員	監	監	常	代	理	理	理	理	理	理	沼	秩	妹	常	常	代	代		
外			勤	表							田	父	背	務	務	表	表		
監			監	監							地	別	牛	理	理	理	理		
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	区	地	区	事	事	事	事		
											代	区	代						
											表	表	表						
											理	理	理						
											事	事	事						
外	近	高	沼	中	板	上	横	西	桃	合	堀	中	堀	向	德	殿	澤	中	黒
職	藤	橋	本	川	垣	村	山	谷	野	田	田	易	田	井	本	村	田	易	田
員	英	成	一	幸	昌	昌	利	健	志	和	高	利	正	正	一	照	浩	洋	洋
一	人	明	郎	雄	誠	樹	利	健	志	和	高	利	正	正	一	照	浩	洋	洋
同	人	明	郎	雄	誠	樹	利	健	志	和	高	利	正	正	一	照	浩	洋	洋

新年あけまして
おめでとうございます





年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合
代表理事組合長 黒田 洋一

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

昨年令和六年のお正月早々、能登半島を襲った震災では、多くの方が被害に遭われました。今も十分な復旧がなされていません。被災された方々すべての人が日常を取り戻せることを願うばかりです。世界では依然とウクライナ侵

攻等紛争が続いています。国内では九月に石破茂新政権が発足し、アメリカではトランプ氏が次期大統領に返り咲きました。国内経済は物価が上昇、人手不足も重なり迫られるように企業の賃上げは避けられない状況になっています。

そのようななか基幹としている水稲の作柄は作況指数「一〇三二」となり、そして急激な米価の上昇により今までに経験したことがないような販売高となりました。また水稲に限らず麦、大豆等においても計画を上回る作柄となり結

果、前年の約一・五倍となる農畜

産物販売支払高は一五〇億円を超えました。米価上昇が主な要因なのですが、すべての農産物において生産者皆様が地道に作り続けた今日、報われる結果となったことは関係者地域の人たちとともに素直に喜びたいと思います。ここに改めて生産者をはじめとする関係者皆様の努力に敬意と感謝を申し上げます。次第です。

一方で消費者から見ると、昨年八月にスーパーから米が消えるといったことが起こったことは事実で、コメ農政への不満がくすぶっています。一昨年の高温による作柄の不良、インバウンド消費の予想以上の回復等いくつかの要因が重なった結果ではあるものの、全国の生産者に委ねる生産の目安に準じた生産調整だけでは不足と余剰を繰り返すことは避けられないのは明白です。現在の米価が生産コストに見合った価格であるということを含め消費者と生産者お互いの理解の基、安定した需給体

制と価格形成が構築される農政の実現が待たれます。

北いぶき農協の米の販売はホクレンと卸の三者による早期契約を中心に有利販売を進めています。認められ求められる産地として、品質面の安定向上と安定的集荷が至上命題となります。今一度、わが農協の集荷力が販売価格を支え地域農業の底上げになっていることを考えていただき、いっそうの農協への農畜産物の一元集荷を改めてお願いするところです。

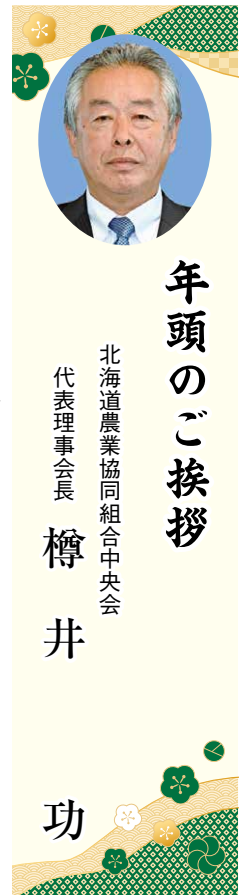
また、令和七年四月の総代会における農協役員改選に合わせ女性参与三名の選出が予定されています。女性からの意見を農協運営に生かしていくことが持続可能な組織づくりに欠かせないものと考えています。

また、今年度四月より職員給与の見直しを行いベースアップによる賃上げを実行させていただきました。冒頭の情勢文にも書かせていただいた現在の物価上昇、人員不足の状況に対応するものですが併せて、農協組織が組合員と職員の連帯組織として一層の団結を強くするものになればと願っています。

環境の変化が激しく課題多き昨今であります、組合員皆様のご

支援ご協力をいただきながら、本年も役員一同努力させていただきます。令和七年が地域皆様方の希望に満ちた明るく笑顔があふれる幸多き年であり、ことを念願し、年頭のご挨拶いたします。





年頭のご挨拶

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長

樽井 功

新年あけましておめでとうございます。
います。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。改めて敬意と感謝を申し上げます。

今年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増し

ております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれました。政府は、初動五年間を農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年三月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

J Aグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていくことが重要と考えております。

また、昨年は第三十一回J A北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「J Aの組織基盤の強

化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・J Aへの理解醸成」の三つの議案を決議いたしました。

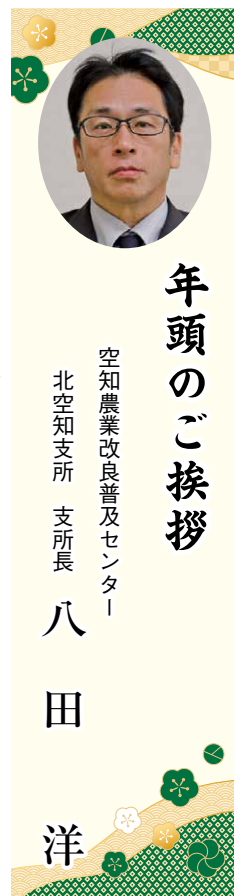
今後、議案の達成に向けて、組合員・J A・連合会が一丸となつて、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、J Aの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、J Aグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・J Aに対する理解を深めていただき、J Aグループが提唱する「国消国産」の認知を広めてまいりましょう。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があるとされ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





年頭のご挨拶

空知農業改良普及センター
北空知支所 支所長 八田 洋

謹んで新春をお祝い申し上げます。北いぶき農業協同組合の組合員・御家族、役職員の皆様におかれましては、益々御健勝の事とお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に御協力、ご支援を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、シーズンを通しての農作業が一区切りついたのも束の間、来月から早速次年度の営農に向かつての準備が開始されることと思っております。

今年度の作況を概観しますと、気象については主要な台風の北海道直撃は回避され、また気温についても慢性的な温暖化の気配があるとはいえ、昨年ほどの記録的猛暑となることもなく経過しました。七月二十三日～二十四日の集中豪雨による雨竜川の氾濫があり、一部のほ場が冠水したことに ついては大変遺憾でありましたが、総じて産地規模の大災害にながることはなく、概ね作柄も良

好であったものと捉えております。一方で気温、降雨含めて短いシーズンで目まぐるしく変化したおかれましては、その都度臨機応変な技術的駆け引きを強いられる場面も多かったのではないでしょう

うか、それだけに皆様の技術力が大いに発揮され、活かされた年であったと認識しております。品目ごとに振り返りますと、水稲は五月末の低温により分げつが滞り、その後の生育が心配されましたが、九月が温暖に経過したことに加え、十分な降雨も得られたことで、七月末以降に得られた遅れ穂も順調に登熟し収量確保につながりました。畑作物については、大豆では猛暑に見舞われることなく花落ちが少なく着莢数が平年より大幅に増加しました。百粒重は平年を下回りましたが十分な収量が得られております。小麦につきましては、概ね平年並みの生育でしたが、一部地域で倒伏や立枯病、赤さび病等により製品歩留まりの

低下が見られ、製品収量は残念ながら平年よりやや低くなっております。花卉の主要品目である「スターチス・シヌアータ」では、五月下旬の低温により、一時的に生育に遅れ、出荷量が後退しましたが、夏場にかけて気温が上昇し平年並みからやや前進化し、また品質面では概ね平年並みとなりました。

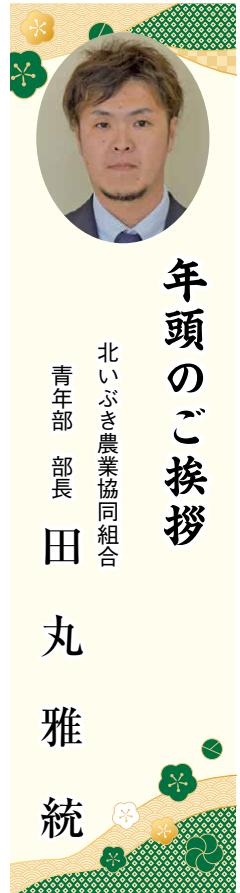
普及センターではシーズン中に仕掛けておりました、各現地試験について、各専門チームごとの検討を経て年内に成績のまとめが完了したところであります。優良なものは皆様方に何らかの方法で伝達報告させて頂くことになるかと思っております。近年は水田活用の水張り絡みで田畑輪換やWCS栽培についての試験や調査がラインナップに加わってきております。これらは省力化、低コスト化の題材と同様に全道的に増加しております。

当普及センターとしても今日的な題材として今後も粘り強く取り組みべき課題と認識しております。外に目を向けますと、世界的に自国ファーストの右極化を掲げ、安易に武力に頼るリーダーが増えており、ここ数年、我が国へどのようなし寄せ、影響が及ぶのか予想がつかない状況にありま

す。営農への影響も然りで、資材高騰などすでに多くの弊害を被っております。しかしながら、このような時こそ、やはり最後に頼るところは基礎技術に立ち返るという構図で、これは時代を通して変わらないのではないのでしょうか。技術立国日本とは言われて久しく、工業的なものづくりを指す言葉の印象がありますが、これは農業にも脈々と受け継がれているものであると強く認識しております。普及センターは技術機関でありますので、皆様方がご活用頂いてこそ、微力ながら存在価値がでてくるものと考えております。どうぞお気軽にご利用いただければと願っております。

結びになりますが本年が皆様にとつて益々御健勝で実り多い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合
青年部 部長

田丸 雅統

新年あけましておめでとうござい
ます。日頃より組合員の皆様には、我々青年部に格段のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。また、三町行政、各関係機関、各関係団体の皆様におかれましても、多大なるご指導、ご協力を頂いておりますことを重ねてお礼申し上げます。

さて、令和六年を振り返り営農に目を向けますと、気象経過について六月は低温があったもののその後は日照時間も多く、降水に恵まれ生育は順調に進んだかと思われまます。基幹作物である水稲においては、平年より一週間ほど早く収穫を行うことが出来ました。作況指数は「一〇三」の「良」と発表され、一部で胴割れ被害や、高タンパク値はあったものの一昨年よりは良い結果となりました。八月頃からはスーパリーの棚からお米がなくなり「令和の米騒動」と言われ、価格につきましては近年では見られないほどの高値で取引されています。

青年部活動については、今年度より新規就農者不足による盟友数の減少により、支部での青年部活動の継続維持が困難になることが見込まれていることから「学習会」「青年部視察研修」の事業を本部事業としました。今後退部者が多く、北いぶき青年部の活動や事業の質を維持していく為にも来年度からは本部役員の人数を三名減らし、役員体制の見直しを行いました。

本部事業においては、三月に「学習会」としてNOSA I講座を行なっていたいただきました。収入保険や園芸施設共済などの説明を行なっていたいただき、NOSA Iさんとの意見交換や保険の制度を再確認できた貴重な時間となりました。六月には「青年部の日」を開催し、三支部盟友と農協職員混合のチームでミニバレーを行い、盟友や農協職員と交流を深める貴重な時間を過ごすことができました。十一月には「視察研修」へ行ってきました。ヤンマーアグリジャ

パン株式会社ではジョンディアを中心とした工場説明をしていただきました。北海道肥料株式会社では「雨に強い」道産肥料のDdやバイオステイミュラントなどの説明を行なっていたいただきました。どちらも今後の営農に役立つ良い研修となりました。その他、各支部夏の事業として秩父別支部では「ちっぷべつ夏まつり」での出店、妹背牛支部は「豊年祈願焼肉まつり」の開催、沼田支部は「沼田町夜高あんどん祭り」への参加を行い町を盛り上げました。

また、スノーメッセーじやファームレター、三十秒CMを通じて、我々農業者の食の安心、安全への取り組みや思いを伝えるために活動をしてきました。また、各支部での食育事業では、子どもに農業や食へ興味を持ってもらう活動を行い、米販売促進事業では食の大切さを消費者へ伝えるために活動して参りました。こうした青年部の活動を通して、盟友が一つのことに向かって団結し、事業を成し遂げていくことができれば今後の農業経営や地域の発展につながると考えています。JA北いぶき青年部として何をすべきか考え続けながら、次年度以降も実りのある事業展開を実施していきたいと思

思っています。昨年の農業情勢に關しましては、ロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナ問題は未だに収束が見えず、円安の影響もあり農業に欠かすことの出来ない肥料や燃料などの生産資材の価格高騰が続いています。さらに「二〇二四年問題」と称される物流業界の規制強化による物流経費の値上がり、労働者人口減少による人手不足や最低賃金の引き上げによる人件費高騰により営農を苦しめています。根本となる国際情勢の落ち着きを祈るばかりです。

我々青年部は時代に合わせた事業展開を図っていき、諸活動を通じて仲間を作り、より一層活動を充実させることで、この先も変化のある農業情勢に備えていきたいと思ひます。そして地域社会、地域農業に貢献し、日本の食糧基地である北海道の農業が益々発展していく青年部組織になっていきたくて考えております。組合員の皆様、各関係機関の方々の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後に組合員の皆様、青年部の皆様の益々のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



北いびき農業協同組合
女性部 部長 荒瀬陽子

荒瀬陽子

新年明けましておめでとうございます。令和七年の新春をご家族お揃いで迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

平素より組合員の皆様には、私達女性部活動に対しまして格段のご理解ご協力をいたしておりまことに、また各関係機関の皆様方にも多大なるご協力に感謝申し上げます。

令和六年を振り返りますと一月一日家族団欒の中での緊急地震速報に不安を覚えたことでしょうか。以前の生活に戻れず避難されている中、またも石川地方を襲った集中豪雨。被害が拡大され被災されている方々には一日も早い復興を願っております。地震の際には、女性協議会を通して寄付をさせていただきますました。世界を見ても今もなお続いている各地での紛争、一日も早い平和が訪れるよう願うばかりです。

私達の生活環境を振り返りますと、例年並の降雪ではありましたが雪解けも早く進み、春作業も順

調に進んでいたように思います。最近の天候も夏前からの高温に加え、集中豪雨の被害もありました。が早い時期からの稲刈り作業も終わってみると、作況指数一〇三と豊作だったことを嬉しく思います。

また昨年は八月頃より店頭での米不足騒動があり、ニュースなどで見聞きするたびにどうしたものかと不安になりました。収穫を迎える中での米価格の上昇には生産者としては、今まで資材肥料等の高騰の中で辛抱してきた分明的な秋作業になりました。一方で家族の食と健康を守る消費者としては、令和の時代にお米が買えない不安に加え米価格高騰による米離れを心配することとなりました。そのような状況ではありましたが、農畜産物に携わるすべての方々の一年間の作業に感謝致します。

女性部の活動では、今年度より三支部交流事業として夏と冬の部員研修を行いました。六月にモ

ルック大会・焼肉懇親会で部員間の交流を図り、十月には初めての冬季研修を妹背牛温泉ペルにて開催し講師をお呼びして切り貼り絵を行いました。皆真剣に取り組み、その後の懇親会でも楽しい時間を過ごし、リニューアルされた温泉で日頃の疲れをリフレッシュできる時間となったことを嬉しく思います。十一月には二日間の日程で開催された北海道女性大会・家の光大会に参加してきました。二日目に行われた農業ガールズコレクションは、木村洋二さんが司会進行されて全道各地のJA女性部による特産品PRに会場全体が盛り上がり、PRの舞台に出演された皆さんがとてもキラキラ輝いていて、たくさんのパワーを受け取る機会となりました。

また昨年は空知地区女性協議会七十周年記念式典も開催され、各支部役員一同とフレミズ会長らと共に参加してきました。講演は大沼えり子さんによる胸にジーンとくるお話(演題「未来の子どもたちを救うためのJA女性組織活動」)で、今一度自分を見つめ直しこれからの人生においても心に残るものとなりました。今年度、様々な行事に参加させていただいた事、そしてこれからの女性部活

動においてとても貴重な経験をさせていただきありがとうございます。

来年度より女性参加が加わり、農協役員の中に女性という新しい風が入り、これからのJA北いびきの風通しの良い環境づくりを望んでおります。また女性の活躍の場が拡がり対話を通して女性の声が反映されることを願っております。これからも女性一人ひとりが楽しめる、仲間づくりの場として女性部活動を行って参りますので、各関係機関の方々のご理解ご協力またご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、農畜産物に携わるすべての皆様の健康で充実した実りある一年となりますようご祈念申し上げます。



第四回 農事組合長会議



沼田地区



質疑を行う石脇辰博さん（沼田地区・沼田中部）

十一月二十九日、秩父別温泉ゆう&ゆにて、令和六年度第四回目となる農事組合長会議を開催しました。

黒田組合長、竹内秩父別町副町長、八田普及センター北空知支所長の挨拶では令和六年の作柄に触れ、水稲のタンパク傾向やカメムシの被害状況などを説明頂きました。

その後JAより、米穀農産事業部からの報告事項を中心に農産物の販売状況、うるち米をめぐる情勢、中間米・屑米の精算等について説明しました。

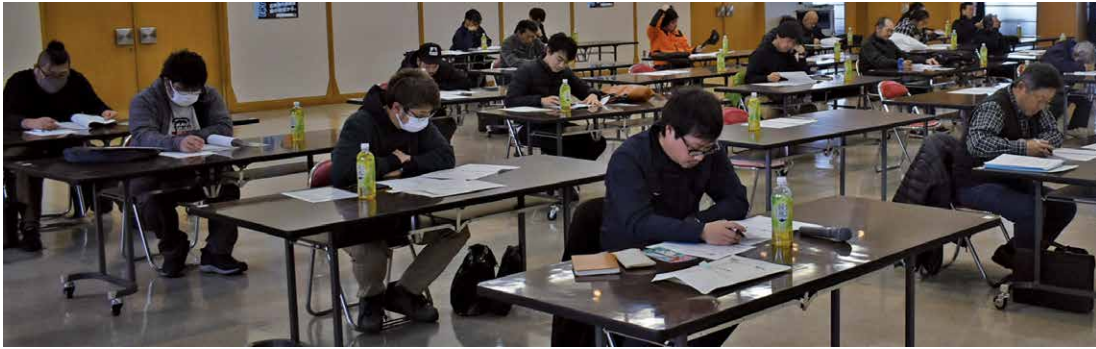


秩父別地区



妹背牛地区

組合員懇談会、女性部・女性農業者との懇談会



秩父別地区・稲豊

十一月二日から三日の日程で、各地区農事組合別・組合員懇談会を開催。

開催に当たり、黒田組合長を始め常勤役員から、令和六年産米の集荷状況のほか、令和五年産・六年産米の追加払いなど現況報告の後に、JAからは「令和六年産農畜産物販売支払高見込み」「うるち米をめぐる情勢」など、二十四項目に亘り報告・説明をさせていただきました。

出席頂いた組合員からは多くの貴重なご意見やご質問、ご要望を頂きました。

また十二月四日には、支所毎に女性部・女性農業者を対象とした懇談会を開催。

JAからは、「令和六年産米の集荷状況」のほか「女性参与登用に向けた取り組み」について説明をさせて頂きました。

頂いたご意見を踏まえ、今後のJA運営に活かせるよう、役職員一同努めて参ります。



妹背牛地区・妹背牛北



沼田地区・沼田西部



村山瞳さん（妹背牛地区・妹背牛中央）



戸村千代美さん（秩父別地区・北新）



岡崎恵子さん（秩父別地区・北新）



青木美弥子さん（沼田地区・東部東）



篠永美保子さん（沼田地区・東部東）



栗原明美さん（妹背牛地区・妹背牛北）

第三十二回 JA北海道大会開催

十一月二十日、JAグループ北海道は札幌市内で、第三十一回JA北海道大会を開催し、全道各地からJA及び連合会の役員、青年組織・女性組織の代表など、オンライン参加も含めて約三〇〇〇名が集まる中、JA北いぶきからは、役員・青年組織・女性組織より二五名が出席しました。

今大会で掲げた将来ビジョンである「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の「ひとを育み、ひとと歩む」の実現へ向け、重点的に取り組むべき事項について、各JAからの組織討議の取り組みを踏まえた中で、三議案が上げられております。

一号議案は食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立。二号議案はJAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立。三号議案ではアグリアクション北海道の推進による農業・食・JAへの理解醸成が掲げられました。

大会前には東京農業大学総合研究所特命教授の末松広行氏より「新たな食料・農業・基本法における北海道農業の目指すべき方向性」と題して、記念講演が行われ

ました。末松氏は食料安全保障の重要性が世界の共通認識となり、農業生産の確保が一層重要になると唱えております。

国内で賄えない物の輸入による供給、備蓄の推進に関する話題や、「地域振興については観光や環境配慮、エネルギー生産など農業・農村とつながる取り組みが多くある」と呼びかけておりました。



北海道大会の様子

北いぶき農事組合長会 視察研修

北いぶき農事組合長会（石脇辰 学ぶ機会となりました。

博会長）は十一月十一日から十一月十四日までの三日間、福岡県にて視察研修を行いました。

視察研修には、各地区から十一名の農事組合長が参加し福岡県福津市のくわの農園を視察。

構成員は従事者二名、常時雇用パートが六名の計八名で行っており主な作物はお米、イチゴ、キャベツ等を栽培。JALとコラボしたイチゴ菓子等、地元を中心とした菓子店・飲食店にも販売しています。

またフードロスがなくすために規格外品を積極的に販売されており、北海道とは違う農業体系について深く



視察先であるくわの農園を訪れました



令和六年産大豆 集荷

十月三十日より、沼田農産物調製施設にて令和六年産大豆の集荷を開始しました。JA北いぶき管内では、米の収穫・出荷が落ち着きを見せだした十月下旬より、大豆の刈り取りが始まりました。集荷については十一月中旬まで受入し、調製は、十一月二十九日まで行われました。

品質については、高温障害や害虫等による被害粒が目立った昨年と比べ、今年は被害粒が少なく、刈り取り時期の天候にも恵まれ品質の良い年となりました。



水分計を使い乾燥具合を確認

十一月五日、北いぶき花卉蔬菜振興協議会（広田和行会長）は、道内視察研修を実施し七名の生産者が参加しました。

石狩市の農業用の包装・産業資材会社である北海道サンプラス株式会社を訪問しました。主に飼料用牧草ロールや灌水チューブを製作されており、訪問時には製品工場を案内していただき製造工程を学びました。



研修中の様子

北いぶき花卉蔬菜振興協議会 道内視察研修



JA北いぶき青年部 本部視察研修

十一月十一日から十二日にかけて、JA北いぶき青年部（田丸雅統部長）は本部事業として道内での視察研修を実施し、盟友三九名が参加しました。

初日は、ヤンマーアグリジャパン（株）を訪問しました。ヤンマー職員の案内の下最新の農業機械の見学を行い、その後社内展示会場にて模型や物販などの見学を行いました。

二日目は、北海道肥料株式会社を視察しました。こちらでは硝酸化成抑制剤の効果についてやDd肥料の効果、実際の試験結果などの座学を中心に、研修が行われました。



機械に興味を尽きない様子でした



第五十七回令和六年度

J A北海道女性大会・北海道家の光大会

十一月七日から八日にかけて、J A北いぶき女性部（荒瀬陽子部長）は、札幌プリンスホテル国際館パミールにて開催された令和六年度J A北海道女性大会・家の光大会に各支部長三名と空知女性協役員一名の計四名が出席しました。

一日目は家の光記事活用体験発表があり、今年度の最優秀賞は宗谷地区・J A宗谷南女性部の大塚真央氏が受賞されました。発表会の後は北海道三笠高等学校教諭の齋田雄司氏による、研修「料理を通して人を育てる」が行われました。

二日目は「農業ガールズコレクション in 北海道」が行われ、北海道各地の特産物や女性部お手製の品物が壇上と会場中央のランウェイにてPRされ、仮装してPRする方々も多く会場中が盛り上がりました。

全道から集まった女性部との交流ができて、学びや発見も多く得られる大変貴重な二日間となりました。



研修を真剣に受ける様子



J A北いぶき女性部家庭介護教室

十一月二十五日、本所中会議室にてJ A健康寿命百歳プロジェクト対策協議会主催の「令和六年度家庭介護教室」がWEB形式にて行われました。

妹背牛五名・沼田三名の計八名が参加し、J A北海道厚生連俱知安厚生病院看護係長・中田有貴氏、看護科長・日座みどり氏にご説明頂きました。

研修では、介護者や主治医とのコミュニケーションを取るこの大切さや、在宅介護の実例を元にした医療ケアの方法等について学ぶことができ、貴重な時間を過ごしました。

役員対象コンプライアンス研修



十一月一日に農協役員を対象とした研修会を開催しました。

講師には、株式会社青山プロダクション代表取締役、青山夕香氏をお招きして、「コンプライアンス・不祥事未然防止」をテーマとして、不祥事やコンプライアンス違反の事例などを基に役員としてどのような役割を果たすことがよいのかをグループディスカッションしながら改めてコンプライアンス

ス研修の大切さを再認識する機会となりました。



研修中の様子

J A空知地区女性協議会 設立七十周年記念式典開催



J A北いぶき女性部（荒瀬陽子部長）は、十一月二十七日、岩見沢市まなみーるにて開催されたJ A空知地区女性協議会設立七十周年記念式典に各支部役員十二名とフレッシュミズ会長二名の計十四名が参加しました。

記念式典では十四代会長吉村俊子氏と十五代会長中川苗保子氏の表彰などが行われ、その後、作家や保護司として活動されている認定特定非営利活動法人ロージীবェル理事長の大沼えり子氏を講師に迎え、記念講演が行われました。

C Dプレイヤーを使って音楽を

流しながら、「自身を「DJ大沼」といってノリノリで明るく楽しい自己紹介から講演はスタートしました。ご自身の経歴や作家・保護司としての活動で体験してきた当時の事を聴衆が想像しやすい伝え方をされ、時に笑い時に涙を流し聴講される方がたくさんいました。

これからのJ A女性組織活動に、子どもたちを救う何かを考えて活動できることから始めてほしいとのメッセージをいただき、講演は終了しました。



絆

～ THE YOUTH FACE ～



藤原 駿介さん

妹背牛地区・妹背牛北

作付品目
水稲

職業として農業を選択した理由

子供の頃から家の手伝いをしていて、いつかは農家を継ぎたいと思っていました。そのため農業の大学に行き、農業で役立つ資格や経験を積み、卒業後は社会を学ぶため三年ほど会社で働きました。そして、今年の春から就農し、父と母の技術を少しでも早く吸収し両親のような立派な経営者になれるように頑張っています。

農業を行なっていく上での思い

まだ就農したばかりで、将来どのような経営や農業をやりたいかは正直まだわかっていない状況ですが、両親が行っている経営の形や

青年部の活動について

今年から青年部妹背牛支部に入り、最初は先輩方の顔と名前を覚える事と自分を知って

農業をこれから沢山学び、将来僕へ世代が交代した時には今までより土地を拡大し、様々な農作物の栽培などにチャレンジしていきたいです。



青年部妹背牛支部で参加した北ブロック球技大会の様子

もらう事を意識して行事に参加させてもらいました。今までは参加していた妹背牛の行事を運営する側が変わり、今まで開催して下さった方々がどれだけ大変なのか知ることができました。それ以外にも懇親会



青年部妹背牛支部で参加したコープさっぽろ新米キャンペーンの様子

などで先輩方や他支部の盟友の方とも情報交換ができ、とても勉強になり青年部に入り良かったと思います。もし先輩が入ってきた時も、先輩方のような存在になれるように頑張りたいです。

理事会報告

第十回理事会（十一月二十七日付）

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 疑わしい取引の届出状況について
- 余裕金の運用計画額について
- 「永年勤続職員表彰実施要領」の一部改正について
- 火災による「農協あんどん」の今後の対応について
- 永年勤続職員表彰対象者について

金融共済事業本部

- 長期資金の貸出し状況について

営農販売事業本部

- うるち米をめぐる情勢について
- 令和六年産 米施設検査見込数量について
- 令和六年産 製品追加・中間米・屑米の精算について
- 令和六年産 スズマル大豆の仮

渡金について

- 令和六年産 農畜産物販売支払高見込みについて
- 令和六年産 米集荷奨励対策金の支払について
- 令和六年産 花卉・野菜の取扱実績について

購買施設事業本部

- 購買施設事業実績検討表（十月末）について

【決議事項】

議案第一号

令和六年度事業収支見込（十月末基準）及び、定時給与（年末手当）の支給について

議案第二号

「女性参与設置規程」の制定について

議案第三号

「規程類管理規程」の一部改正について

議案第四号

「信用事業方法書」の一部改正について

議案第五号

「予防規程」の一部改正について

議案第六号

出資金の譲渡、並びに減口について

議案第七号

信用限度超過者に対する貸し付けの承認について

【協議事項】

- 信用限度八〇％を超える組合員への貸付について
- 令和七年度営農計画書算定に係る販売単価について
- 職員等にかかる給与体系などの見直しについて
- 令和六年度年末組合員懇談会の開催に係る日程及び提出議案等について

JAへの就職希望

者100%就職

（令和5年度実績）

令和7年度 第3回学生募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年
- 寮完備（個室）●通学制開始
- 受験資格：満27歳未満（令和6年4月1日現在）/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：令和7年2月2日（日）
- 願書受付：令和7年1月6日（月）・1月24日（金）※印刷あり
- オープンキャンパス随時開催中

【お問合せ・資料請求】

JAグループ職員養成校

令和7年度より
通学制開始

JAカレッジ

一般財団法人
北海道農協協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町 43-1

☎0120-918-417【JAカレッジ】で検索





第二十二回妹背牛年金友の会 パークゴルフ大会開催

妹背牛年金友の会(山下豊会長)は八月二十三日、妹背牛町うらら公園パークゴルフ場にて第二十二回妹背牛年金友の会パークゴルフ大会を開催し、三十七名の会員の方々が参加されました。

開会式では、山下会長から「本日は気温が高いため、周りの方々に気遣いながら、楽しくプレーをして頂きたい」と挨拶。

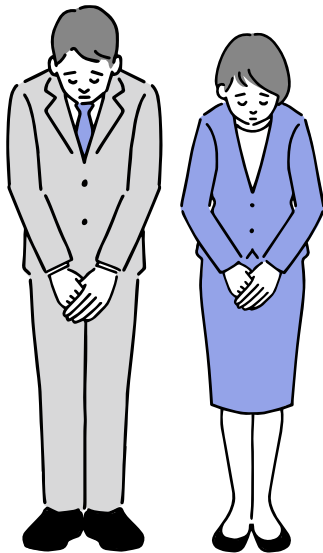
来賓として中易J A専務から日頃のお礼と大会に向けての激励の

挨拶が述べられました。競技中の雨の心配があったものの、時折日も差し、蒸し暑い中でプレーとなりましたが、参加した会員の皆さんは大いにプレーを楽しんでいました。

- ・ 男性の部優勝
小田満慶さん
- ・ 女性の部優勝
三浦法子さん

広報誌十一月号 誤記載のお詫びについて

広報誌十一月号の発行に当たり、十二ページ「第二十回妹背牛年金友の会パークゴルフ大会開催」について事務処理のミスがあり、昨年の記事・原稿を記載しておりました。組合員・会員の皆様には、大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。



女性部沼田支部役員研修

女性部沼田支部（生田ユカリ支部長）は十月二十四日・二十五日に、道央方面へ役員研修を実施し、役員四名が参加しました。

一日目は、道の駅あびらD51ステーション農産物直売所『ベジステ』にて直売所の視察・意見交換会を行いました。直売所には、有



機野菜や加工食品など、ここできか販売していない農産物が多く取り揃えられていて、参加者はとても興味深く視察を行っていました。

また、意見交換会では、生産者協議会会長・『ベジステ』店舗責任者・生産者協議会事務局の三名にご対応頂き、質疑応答を交えながら直売所の商品管理方法や、農産物の価格設定についてのお話を伺いました。

二日目は、雪印種苗北海道研究農場にて野菜・花卉の種苗研究について学びました。野菜では主に枝豆・スイートコーン・カボチャ、花卉ではカーネーションの種苗種類や品種ごとの特徴について学びました。初めて耳にする品種が多くあり、参加者は「実際に育ててみたい」「食べてみたい」と、とても関心を持っている様子でした。

二日間の研修を通して参加者は、「短い時間だったが、非常に有意義で学びが多いものだった。」と振り返り、充実した役員研修となりました。

女性部沼田支部寿会一夜研修



十月二十九日・三十日、沼田支部寿会（沼本幸子会長）は沼田町ほろしん温泉にて一夜研修を開催し、会員十一名が参加しました。

一日目は、懇親会とビンゴゲームを行い、久々に顔を合わせ、会員同士の交流を深めました。

二日目は、沼田町ほろしん温泉・体育館にて開催された、まるごとげんき運動教室へ参加をしたり、談話をしたりと、充実した時間を過ごしました。



女性部沼田支部
フレッシュユミズ部員研修旅行

十月三十日、沼田支部フレッシュユミズ（谷本真紀会長）は部員研修旅行を開催し、会員五名が参加しました。

今回の研修旅行では、当別町にあるロイズカカオ&チョコレートタウンにて、カカオの栽培からチョコレートが出来上がるまでの過程を学びました。

また施設内にて、一人ひとりオリジナルの板チョココレートを作成したり、お土産を購入しました。

その後、札幌市にある鶴雅ビュッフェダイニングにて昼食をとり、午後からは各々市内散策を楽しみ、充実した部員研修旅行となりました。



ただきこれからも元気に過ごしてもらえたらと思います。



女性部妹背牛支部
助け合い運動

十一月一日、女性部妹背牛支部（荒瀬陽子支部長）は助け合い組織運動として、一部地域の方に手作り豆腐をお届けしました。

役員五名と連絡委員四名の計九名で早朝から加工センターにて豆腐を作り、午後からは民生委員の方にご協力いただいて約一四〇戸のお宅にお届けしました。

玄関口で手作り豆腐のお届けを行い、「お豆腐待ってました」「おいしいお豆腐がもらえて嬉しい」とのあたたかい言葉とともに迎えていただきました。いつも笑顔でお豆腐を受け取ってくださいる方々には、おいしく豆腐を食べてい



青年部沼田支部 米消費拡大事業

十一月三日、青年部沼田支部（山岡凌太郎支部長）は札幌市内のコープさっぽろルーシー店の店舗にて北いぶき産「ななつぼし」の新米キャンペーンを行いました。

当日は店舗の特別会場では、「ななつぼし」について説明や試食を進めることで多くのお客様にご購入いただきました。

お客様の声を直接聞くことができ、この事業は、消費者の皆さんの考えを知る機会でもあり、生産者の皆さんが、お米作りでの取り組みなどをより知ってもらう重要な機会となっております。



スマホの使い方を指導している様子

女性部秩父別支部 エルダー部員研修

十一月五日から六日にかけて、女性部秩父別支部エルダー（高橋信子会長）は部員研修を実施し、部員一名が参加しました。

研修には元秩父別町地域活性化起業者の佐藤さんにお越しいただき、スマホ教室を開催致しました。

LINEの友だち追加やグループの作成など分かりやすくご説明いただき、その後は質疑の時間を取り、LINEに限らず普段使用している中で困っていることなど、聞いたことに対して丁寧に解説していただきました。使い慣れている方は再確認ができ、慣れていない方は色々な使い方を聞くことが出来て良かったとの声があり有意義な研修となりました。

スマホ教室終了後は秩父別温泉ゆう&ゆへ移動し、ピング大会など懇親会を楽しみました。

女性部秩父別支部役員研修

女性部秩父別支部（岡崎恵子支部長）は十一月十一日から十三日までの二泊三日で栃木県へ役員研修を実施しました。

昨年から役員体制を八名から四名の二年任期にしたため、毎年実施していた役員研修を二年に一度へ変更してから初めての実施となりました。

一日目は東武ワールドスクエアを見て回り、二日目は華厳の滝、日光東照宮、お寺で猫を飼っている



弓削田醤油株式会社での醬遊王国での様子

ることである有名な那須の長楽寺など栃木県の観光名所を回りました。

三日目は当初予定していたカルビー清原工場での工場見学が出来なくなつたため、代わりに弓削田醤油株式会社の醬遊王国へ行きました。大きな木桶に入った大豆や、工場では大豆を煎ったり蒸したりしている工程を見学させていただきました。

役員同士の親睦を深めることができた大変有意義な時間となりました。



女性部背牛支部フレッシュミズ会冬期レク

十一月十一日、JA北いぶき女性部背牛支部フレッシュミズ会（渡会真紀会長）は、会員四名参加のもと、冬期レクリエーション『手作り味噌』体験を妹背牛町保健センターにて開催しました。

大豆は白大豆・黒大豆を用意し、各家庭で事前洗って浸水して煮てきた大豆をつかって手作りの味噌作りを体験しました。会員たちはそれぞれ白味噌・黒味噌、そして白黒ミックス味噌の原料である大豆・塩・米麴を混ぜ合わせて仕込み、熟成期間は十か月〜十二か月を要するため各家庭で味噌の完成が楽しみとなる貴重な体験となりました。

レクの後は昼食を和室にてとり、歓談をしながらゆったりとした時間を過ごしました。



女性部妹背牛支部 役員道外視察研修

十一月十九日から二十二日の四日間、女性部妹背牛支部（荒瀬陽子支部長）は役員道外視察研修（福岡県・佐賀県・長崎県）を実施しました。今年度は役員間で「日本一大きな産直市場『伊都菜彩』を見学してみたい」との声が上がりました。九州方面へと決まりました。また「女性部との交流を通して、意見交換などしたい」との声もあり、JA糸島女性部へ交流の依頼をしたところ、快く受けていただいたことで視察ならびに女性部交流を実施する運びとなりました。



唐津焼の絵付け体験をしてきました。

した。福岡県糸島市「伊都菜彩」の視察ではJA糸島営農部営農企画課藤川課長にご対応いただき、産直市場のお話を詳しくご説明いただきました。

その後JA糸島女性部（波多江優子部長）との交流会では女性部活動の詳しい内容についてお話しいただき、その活発さと多岐にわたる活動の豊富さに圧倒されました。帰り際にはJA糸島女性部の活動グループで作られたピーマン味噌・蜜蝋製のハンドクリーム・布帽子のお土産をいただき、短い時間ではありましたが楽しくも学びのある機会を得られました。その後は佐賀県唐津市に向かい、唐津焼の絵付け体験をして、曳山展示場と唐津城も見学してきました。

三日目は長崎県佐世保市ハウステンボスを訪れ、広大なパーク内の至る所にイルミネーションが施されており、大変素晴らしいです。最終日は飛行機を乗り継ぎ、帰宅の途に着きました。

今回の視察研修において、風土の異なる土地に訪れたことで今まで見えなかった視点に気づくことができ、役員一同は今後の女性部活動に役立てていきたいという思いを抱き研修を終えました。

1day仕事体験の開催



真剣な様子で説明を聞く旭川医療秘書専門学校生徒たち

十一月十五日、本所大ホールにて旭川医療秘書専門学校の一年生生徒一八名を対象とした1day仕事体験が行われました。生徒たちはJA北いぶきの事業内容や特色について学び、その後秩父別町にある育苗施設やブロッコリーやトマトなどの選果施設に向かい施設見学を行いました。

午後からは各部署の若手職員らによる出勤までの一日の仕事内容について説明が行われ、その後は職員たちとの座談会を行い1day仕事体験が終了しました。



女性部妹背牛支部 地域貢献活動

十一月二十五日、女性部妹背牛支部（荒瀬陽子支部長）は地域貢献事業として妹背牛小学校に雑巾二五枚を寄贈しました。

校長先生と教頭先生に学校の玄関にてお迎えいただき、校長室にて雑巾をお渡ししてまいりました。お渡しの際には「学校生活に欠かせないものなので、とてもありがたい」とのお言葉をいただきました。



女性部沼田支部 フレッシュジュミズ部員研修

十二月五日、JA北いぶき女性部沼田支部フレッシュジュミズ（谷本真紀会長）はまちなかほっとタウン・小会議室にて、部員研修を開催し、部員六名が出席しました。

今回の研修では、留萌市にある「株式会社丸夕田中青果」・田中美智子氏にお越し頂き、カットフルーツ作成を行いました。フルーツをお花やハートの形に切ったり、オリジナルの盛り付けを行い、一人ひとりが素敵なカットフルーツを作成することができました。参加者からは「とても楽しかった」「家でも実践したい」などの声が上がりました。

研修終了後は、昼食を取りながら、情報を共有する等、大変有意義な研修となりました。





足もみ棒を使用してセルフケアの仕方を教えて頂いています

女性部沼田支部 一日研修

十二月二日、JA北いぶき女性部沼田支部（生田ユカリ支部長）は沼田町生涯学習センター・ゆめつくるホールにて、一日研修を開催し、部員二五名が出席しました。

昨年までは、ほろしん温泉での宿泊を含めた研修を開催していましたが、宿泊者数の減少に伴い、今年度から研修と懇親会を行いました。

今回の研修では、上川郡東川町にある「若石足もみ処中村屋」オーナー・中村利雅氏にお越し頂き、足もみ講座を行いました。講座前半では、足もみの発祥や理論について説明をして頂き、後半は足もみ棒を使用したセルフケアの方法を教えて頂きました。参加者からは「とても勉強になった」「今後も活用したい」などの声が上がっており、とても充実した研修となりました。

研修終了後は、「割烹 酔心」へ移動して懇親会を行い、ビンゴゲームで盛り上がり、部員同士の親睦を深めました。

永年勤続職員表彰

十一月十九日、JA北いぶきは令和六年に勤続三〇年、二〇年を迎えた職員に永年勤続表彰を行い、JA黒田組合長より記念品と感謝状が贈呈されました。今回表彰された職員は次の通りです。

【勤続三〇年】

東 真俊
（金融事業部長兼共済事業部長）

清野 和王
（米穀農産事業部長）

野原 慎司
（施設事業部長兼生産資材事業部長）

大内 忠幸
（妹背牛支所貯金共済課長）

守谷 貴子
（施設事業部燃料課燃料係長）

下地美也子
（秩父別支所生産資材課生産資材係長）

【勤続二〇年】
小本 拓巳
（共済事業部共済課長）
打譚 友子
（共済事業部共済普及課長）
金子 太郎
（沼田支所融資経済課長）
齋藤 実
（沼田支所車輛課長）
中嶋 りか
（共済事業部共済課共済係長）
小野 貴文
（生産資材事業部生産資材課生産資材係長）
砂川 純
（秩父別支所農機車輛課農機車輛係長）
戸村 真弓
（沼田支所貯金共済課共済係長）



上段左から中嶋係長、小野係長、砂川係長、戸村係長
下段左から打譚課長、齋藤課長、金子課長、小本課長



上段左から下地係長、大内課長、守谷係長
下段左から東部長、清野部長、野原部長

PHOTOだより



12月4日女性部・女性農業者との懇談会を行いました。

◀妹背牛地区



▲秩父別地区



◀沼田地区

Contents

●年頭のご挨拶	●理事会報告	15
北いぶき農業協同組合 代表理事組合長 黒田 洋一	●第21回妹背牛年金友の会 パークゴルフ大会開催	16
— 2	●広報誌11月号 誤記載のお詫びについて	16
●年頭のご挨拶	●女性部沼田支部役員研修	17
北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 樽井 功様	●女性部沼田支部 寿会一夜研修	17
— 3	●女性部沼田支部 フレッシュミズ部員研修旅行	18
●年頭のご挨拶	●女性部妹背牛支部 助け合い運動	18
空知農業改良普及センター 北空知支所 支所長 八田 洋様	●青年部沼田支部 米消費拡大事業	19
— 4	●女性部秩父別支部 エルダー部員研修	19
●年頭のご挨拶	●女性部秩父別支部 役員研修	20
北いぶき農業協同組合 青年部 部長 田丸 雅統様	●女性部妹背牛支部 フレッシュミズ会冬季レク	20
— 5	●女性部妹背牛支部 役員道外視察研修	21
●年頭のご挨拶	●1day仕事体験の開催	21
北いぶき農業協同組合 女性部 部長 荒瀬 陽子様	●女性部妹背牛支部 地域貢献活動	22
— 6	●女性部沼田支部 フレッシュミズ部員研修	22
●第4回農事組合長会議	●女性部沼田支部 一日研修	23
— 7	●永年勤続職員表彰	23
●組合員懇談会、女性部・女性農業者との懇談会	●PHOTOだより	24
— 8	●東野ひでき北海道後援会	25
●第31回JA北海道大会開催	●JAバンク	26
— 9	●JA共済	27~29
●北いぶき農事組合長会 視察研修	●年末年始営業時間について	30
— 10		
●令和6年度大豆 集荷		
— 10		
●北いぶき花卉野菜振興協議会道内視察研修		
— 11		
●JA北いぶき青年部本部視察研修		
— 11		
●第57回令和6年度		
JA北海道女性大会・北海道家の光大会		
— 12		
●JA北いぶき女性部家庭介護教室		
— 12		
●役員対象コンプライアンス研修		
— 13		
●JA空知地区女性協議会設立70周年記念式典開催		
— 13		
●絆 ~THE YOUTH FACE~		
— 14		

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第3回「東野ひでき北海道後援会」の取り組み

組織内候補者を擁立して臨んできた過去5回の参議院選挙比例区では、各組織等が精力的に取り組んだ結果、候補者は当選を果たしてきたものの、残念ながら選挙の度に大きく得票数を減らしております。

得票数減少の様々な要因はあるものの、前回選挙の総括では(ア)選挙の意義を組織構成員に伝え機運醸成する組織力の低下、(イ)世代交代や情報発信・接点等不足による候補者の認知度の低下、(ウ)職員、組合員や青年部・女性部盟友等への浸透・徹底不足、(エ)事務局体制の脆弱化等が主な要因としてあげられております。

こうした要因と危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが必要不可欠であります。農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

今後、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、関係団体など東野ひでき氏を応援する者の輪を広げていくために、「なかまづくり運動」をはじめ農政学習会の開催、SNSでの発信等を繰り返してまいります。

ひできのなかまづくり運動

【ひ】…ひとりでも多く!

【で】…できることから!

【き】…きょうから始めよう!

各々が東野ひでき氏支援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第4回)は、農政活動の仕組みについて紹介します。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

JA北いぶきインスタグラム公開中です!ぜひご覧ください!

ホームページ <http://www.ja-kitaibuki.or.jp/>

JA北いぶき

検索



ホームページ、
インスタグラムでも
情報を発信しています
ぜひご覧ください!



ja_kitaibuki

プロフィール
を編集

アーカイブ
を見る

JA北いぶき(北いぶき農業協同組合)

JA北いぶきです!

JAグループの一員として、北海道の秩父別町・妹背牛町・沼田町で生産者と協力し、安心・安全なお米や野菜、花卉などの農畜産物をお届けしています。... 続きを読む

📍 www.ja-kitaibuki.or.jp



JAバンクアプリ プラス 新登場!

アプリで全部できるぞう。

振込・振替

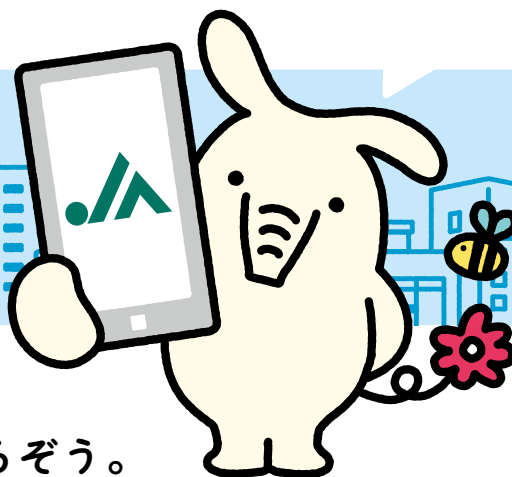
カードローン*

税金・各種料金の払込み (ペイジー)

住所・電話番号変更
アプリで完結!
来店・郵送不要

JAバンクを初めてご利用の方に

口座開設*
アプリで完結!
来店・郵送不要



いつでも
手続きできるぞう。

通勤中に

休憩中に

帰宅後に



JAバンクアプリ プラスのダウンロードはこちらから。



口座開設と合わせて、JAカード(単機能型)へのお申し込みもできます!



※JAによってお取扱いてきえない場合や、一部機能に制限を設けている場合、対象商品・案件が異なる場合があります。

©よりぞう



くるまの事故や急な故障のときも サポートが受けられる



事故が起きて焦っている時、最短ルートで連絡できる



事故連絡

焦っている時もすぐにJA共済事故受付センターやJA共済サポートセンターに連絡できます。



契約情報の連携

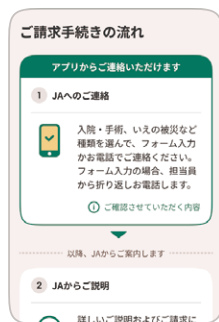
ご登録済のWebマイページから契約車両の情報が連携され、スムーズに連絡できます。



事故情報の連携

事故状況を写真でも共有できるほか、位置情報が連携されるため、状況説明の手間が省けます。

その他、被災時や病気・ケガの際にも迷わず連絡できる



手続きの流れのご案内

ご請求手続き全体の流れを知ることができます。



共済金請求のご連絡

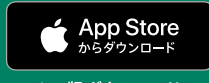
被災時や病気・ケガでサポートが必要な時もアプリからご連絡できます。



JA共済アプリ 登録ガイド

QRコードから「JA共済アプリ」をインストールしてください。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



iOS版 ダウンロード



Android版 ダウンロード



JA共済アプリ

各ストアから検索も可能です。

24489000057



もしものとき
**連絡先がわからなくて
困ったことありませんか？**



もしものときにあわてないために。 事故や故障時の連絡先をご確認ください。



自動車事故等の場合には

JA共済事故受付センター

ジコは クミアイ

☎ 0120-258-931

24時間
365日
受付

※JAの営業時間内は、
ご加入先JAまでご
連絡ください。



レッカー移動や故障時の
応急対応が必要な場合には

JA共済サポートセンター

レッカーロードサービスは クミアイ

☎ 0120-063-931

お車のトラブル時にアプリを利用すれば
受付窓口へのスムーズな連絡が可能です。



GPS 機能で
位置情報を
送信できます。



ご登録いただいた
お車情報を
送信できます。



トラブル状況の
画像を送信*
できます。

*JA共済事故受付センターにトラブル状況の
画像を送信することはできません。



■ 必要な情報をJA共済事故受付センター、JA共済サポートセンターに送信でき、
迅速に事故受付やレッカー・ロードサービスを受けることが可能となります。



ダウンロードは
こちらから!



App Store
からダウンロード



Google Play
で呼べよう

外出先での事故で困っていたところ、
すぐに現場へ駆けつけてくれて安心しました。

ご利用者様
からの声

外出先で自動車事故を起こしてしまったため、事故現場から契約先JAに電話をしました。JAの担当者がすぐに駆けつけてくれて、今後の請求手続きや解決までの流れなどを親切にととても分かりやすく説明してくれました。その後、事故の相手方や保険会社との対応を全てJAにお任せして無事解決しました。途中経過の報告も定期的に行われ、加入していて本当に良かったと実感しました。



● 年末・年始の営業時間について ●

部 門 月 日	給 油 所 (セルフスタンド)		貯金共済店舗	A T M		生産資材店舗 農機車輛店舗	事 務 所 (融資経済課 窓口含む) 営農販売事務所 (秩父別)
	秩父別	妹背牛・沼田		秩父別	妹背牛・沼田		
12/27(金)	7:30 ~ 19:00	8:00 ~ 18:00	9:00 ~ 16:00	9:00 ~ 18:00	9:00 ~ 18:00	9:00 ~ 16:30 (仕事納め)	8:45 ~ 17:00 (仕事納め)
12/28(土)	7:30 ~ 19:00	8:00 ~ 18:00	休 業	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00		
12/29(日)	7:30 ~ 19:00	休 業		9:00 ~ 17:00	休 業		
12/30(月)	7:30 ~ 19:00	8:00 ~ 18:00	9:00 ~ 16:00 (仕事納め)	9:00 ~ 18:00	9:00 ~ 18:00		
12/31(火)	7:30 ~ 15:00	8:00 ~ 15:00	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業
1/1(水・祝)							
1/2(木)	休 業	休 業					
1/3(金)							
1/4(土)	7:30 ~ 19:00	8:00 ~ 18:00		9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00		
1/5(日)	7:30 ~ 19:00	休 業		9:00 ~ 17:00	休 業		
1/6(月)	7:30 ~ 15:00	8:00 ~ 15:00	9:00 ~ 15:00	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 15:00	8:45 ~ 15:00

(株)まちづくりぬまた 物産サービスセンター	12月27日 12月28日～1月5日 1月6日以降	8:30 ~ 17:30 休 業 8:30 ~ 17:30 (土 8:30 ~ 17:00) 祝日・日曜休業
ダ・マルシェ 沼田店	12月31日 1月1日・2日 1月3日以降	9:00 ~ 17:00 休 業 9:00 ~ 19:00
(株)ホクレン商事 (エーコープ秩父別店)	12月28日～31日 1月1日・2日 1月3日以降	9:00 ~ 18:00 休 業 10:00 ~ 18:00